

報道関係各位

～総勢59名の受講生が、約9カ月のレッスンの成果を披露～

2019年度「朗読スタジオ」発表公演 『声のギャラリー』 ご掲載のお願い
～日本を代表する演劇人の1人として活躍する壤 晴彦も出演～

ACM劇場が、2013年度より一般市民向けの学びの場として実施している「朗読スタジオ」。
今年度も、仕事も経験もさまざまな59名の受講生たちが、朗読の楽しさや日本語の美しさ、声に出して
気持ちを表現する事の面白さなどを月に2回、約9ヶ月かけて学んできました。
現在も、講師の壤 晴彦氏と森 一馬氏の下、2月の発表公演に向けて熱心に稽古を行っています。
水戸芸術館の運営理念のひとつである「楽しみながら考える」、「市民の芸術文化活動の拠点となる」の実
践の場である「朗読スタジオ」の取り組みを、貴媒体にて広くご紹介いただけますようお願いいたします。

<公演概要>

【公演名】2019年度「朗読スタジオ」発表公演 『声のギャラリー』

◎受講生朗読「仮名手本忠臣蔵」※詳細別紙

◎アフタートーク 壤 晴彦・井上 桂（当館演劇部門芸術監督）

～壤晴彦が愛してやまない「忠臣蔵」の語りきれない魅力にも迫ります。～

【日時】2月11日（火・祝）午前の部 10:30 開演／午後の部 15:30 開演

※出演者が異なる二部制のため、各回入替制となります。

【会場】水戸芸術館 ACM 劇場

【構成・演出】壤 晴彦

【出演】朗読スタジオ受講生 59名、壤 晴彦 他

【料金（全席指定/入替え制）】各回 800円 **発売中**

【チケット取扱い】

水戸芸術館（9:30～18:00/月曜休館）

・ エントランスホール内チケットカウンター

・ チケット予約センターTEL：029-225-3555

・ WEB 予約：https://www.e-get.jp/arttower/pt/&s=219303



過去の公演の様子

<お問い合わせ>

【掲載に関すること】水戸芸術館 広報係 川崎 TEL. 029-227-8111（代表）

【企画に関すること】同 演劇部門 比嘉 TEL. 029-227-8123（演劇部門）

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 （公財）水戸市芸術振興財団

<今年度の朗読作品「仮名手本忠臣蔵」>

今年度は、日本演劇の大傑作「仮名手本忠臣蔵」に挑戦します。江戸中期、文楽作品として誕生した「忠臣蔵」は歌舞伎としても大ヒット、それ以降も様々な派生作品が生まれただけでなく、落語、講談、映画、テレビドラマなど多くの分野に多大な影響を与えてきました。その原点と言える「仮名手本忠臣蔵」には、多彩な語りの技術も集積されており将に日本文学の粋というべき作品です。これを、現代語のナビゲートを交えつつ、全段一気に朗読いたします。第十段は、壤晴彦、森一馬、相澤まどかの講師陣による特別朗読で締めくくります。

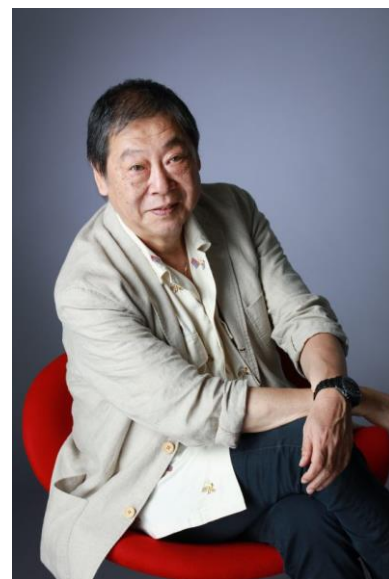
公演後には、壤晴彦と当劇場の芸術監督・井上桂とのアフタートーク。壤晴彦が愛してやまない「忠臣蔵」の語りきれない魅力にも迫ります。

<朗読スタジオとは>

2013年度より水戸芸術館 ACM 劇場が主催する高校生以上の市民を対象にした教育普及プログラム。本年度で7期目となります。水戸だけにとどまらず、県内各地から集まった受講生約 59 名が古今東西の優れた短編テキストを元に毎月土曜日（2～3回）、レッスンに励み、発表公演を目指します。

<講師プロフィール>

・壤 晴彦 | じょう・はるひこ（俳優・演出家・演劇倶楽部『座』代表）
狂言大蔵流、茂山千五郎師（千作・人間国宝・故人）に師事。その後「劇団四季」正劇団員を経てフリー。蜷川幸雄演出『テンペスト』『卒塔婆小町』等に主演。他にも各国の国際演劇祭やカルチュラル・オリンピック等に参加、日本を代表する演劇人として活躍。深い洞察力に裏打ちされた明晰な台詞には定評がある。自身が主宰する演劇倶楽部『座』では定期公演に演出・出演をしながら後進の育成にあたっている。NHK 大河ドラマ・朝の連続テレビ小説演技コーチ、大阪芸術大学講師など演技指導者としても評価が高い。



・森 一馬 | もり・かずま（俳優・声優・ナレーター／演技・殺陣講師）

NPO 法人演劇倶楽部『座』付属研究所 4 期生修了・現劇団員。(株)ヘリンボーン所属。ドラマ『川崎探偵団』で横浜銀蠅率いる銀蠅一家の一員としてユタカプロダクションよりデビュー。その後ドラマ・映画・舞台・ナレーション・歌手など活動は多岐にわたる。主な出演舞台『雨月物語』『杜子春』『動物園物語』『歌行燈』『げんない』。趣味は映画鑑賞・読書。